



談話コーナー
予約なしで、ご自由に利用できます。



閲覧席



書架



ワークステーション
ワークステーションは3Fにもあります。

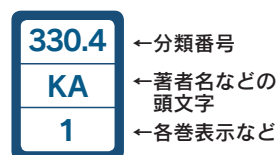
◆大行寺分館（教育学部主体）

経営学部の移転に伴い、2018年後期よりレイアウトが変更になりました。広さは若干縮小しましたが、以前より分かりやすい所蔵配置になっています。

◆移設資料（分類番号）について

大行寺分館から本館へ移設した図書の分類番号は、下記のとおりです。

- ・ 330番台（経済）～ 350番台（統計）
- ・ 500番台（技術・工学）～ 580番台（製造工学）
- ・ 600番台（産業）～ 690番台（通信事業）
- ・ 岩波新書



※一部移設対象外あり

ささやき

経営学部が後期より大行寺キャンパスから本キャンパスへ移転となりました。資料移設に伴う休館の際にはご不便をおかけしましたが、おかげさまで無事に開館の運びとなりました。新しくなりました図書館へのご来館をお待ちしております。

平成30年10月25日 発行
編集 図書館だより編集委員会
発行 白鷗大学総合図書館
〒323-8586 栃木県小山市駅東通り2-2-2
ホームページ <http://hakuoh.jp/library/index.html>
印刷 第一印刷株式会社

変わる地域の公共図書館

～小山市立中央図書館の農業支援、ビジネス支援サービス～

経営学部教授・総合図書館長
吉川 薫



近年、地域の公共図書館では利用者の拡大を図るため、各地で様々な取組みが試みられている。これは人口減少の影響のほか、インターネットの普及で何でも容易に調べることができるようになり公共図書館の利用者が減ってきていること、財政状況が厳しいなか、どの地域でも地域の活性化に既存の公共図書館を役立てられないかと考えられるようになってきたことなどが背景にある。

こうしたなか白鷗大学のある栃木県小山市の市立中央図書館では早くから地域活性化を推進するため、農業支援サービス、ビジネス支援サービスを展開してきた。この農業支援サービスの活動が評価され、昨年（2017年）には米国図書館協会（ALA）の年次総会のポスターセッションで世界150件のうちのひとつとして展示・発表が行われた。同館の農業支援サービスは「図書館は小山の農業を応援します」をキャッチフレーズに2007年からスタートし、農業支援コーナー（関連図書の収集）、おやまブランド特産品コーナーの設置、農業ブックリストの作成・配布、小山市農業祭への出展（関連図書等の展示、食育絵本の読み聞かせ等）、農

業ビジネス講座の開催、オンラインデータベース「ルール電子図書館」の提供、ホームページ「地産地消ライブラリー」の公開、などのサービスを提供している。米国でのポスターセッションには多くの来場者があったとのことであり、「ウイスコンシンでは農業支援サービスは農学部の専門家と大学図書館が連携して行っている。公共図書館が行っていることに感心するし、興味がある。」といった声があったとのことである。こうした地域の公共図書館におけるビジネス支援などの新しい動きについては緒方良彦・柴田亮介著『情報センターの時代 新しいビジネス支援』でいくつかの例などが紹介されている。

さて、白鷗大学では小山駅東口の新校舎竣工にともない、その2～4階に総合図書館が開設された。大学図書館として教育・研究のための学術書等の書庫、閲覧スペースを充



実ただけでなく、グループワークスペース、コミュニケーションスペースを広く設け、学生、教職員、地域の方々等の交流による新たな知の創造、発信の場としての機能を強化した。白鷗大学総合図書館が地域の公共図書館との連携、交流を一層深めつ

つ、大学図書館としての特徴を活かして学生諸君、教職員の方々、地域の方々等の学習、研究、交流の場として広く利用され、新たな知の創造、発信の場としてますます重要な役割を果たしていけるよう努めていきたいと思う。

今と未来を読み解く人口・歴史の本

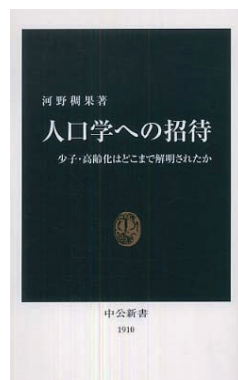
教育学部准教授
新 谷 由里子



昨今、人口減少や少子高齢化が社会問題として注目され、人口の変動の背景や要因についてより多くの関心が集まるようになりました。そこで今回は日本の今と未来を読み解くうえで私が感銘を受けた人口に関する書籍を紹介したいと思います。

まず一冊目は、歴史人口学の視点から書かれた鬼頭宏著、『人口で見る日本史』です。「国勢調査」などの近代的な資料が存在しない時代の人口変動について、考古学、歴史資料、医学、疫学等様々な領域の知見をもとに推計し、社会文明の発展と人口の増減の関係を読み解いています。そこでは人口の増減は、ある社会の文明システム（生活様式や社会のあり方）の発展と限界に対応しており、文明の発展がしにくくなると人口は停滞・減少に向かうことが歴史の様々な資料から明らかにされています。この視点からあらためて現代を考えると、人口減少や少子化といった現象は実は私たちの現代文明システムが限界まで達していて、その限界を超えるためにも新たな価値観にも基づく社会・経済体制や生産・生活様式への転換が求められているようにも思えます。

もう一冊は、河野 稠果著『人口学への招待』です。こちらは人口学の入門書的な新書ですが、近代化に伴う人口転換（変動）、人口モメンタム、合計特殊出生率や平均寿命など現代の身近な人口事象について学問という視点から分かりやすく書かれており、政府などが公表しているデータや施策についてより具体的な理解に近づける良書です。いずれにせよ人口の変動は今から未来に至るまで私たちの人生・生活に大きな影響を及ぼすものです。過去の人口の歴史と社会の関係をひも解き考えることによって、少し大げさではありますが新しい文明社会を模索していくヒントが得られるのではないのでしょうか。



図書館ニュース

2018年4月に新棟がオープンしました。各フロアをご案内します。

◆本館（経営学部と法学部主体）

本館3F



サービスカウンター
入館して左手にあります。



雑誌架・新聞架



ラーニング・コモンズ

目的に合ったグループ学習をサポートできるよう様々な形態の部屋を設置しています。3Fのワークショップブースは、スイッチでガラスの透過度を切り替えられます。



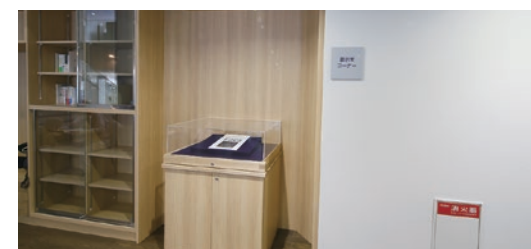
視聴覚ブース

本館2F



書架

法学部の学生が利用する図書・雑誌を中心に、配架しています。電動式集密書架は、スイッチで書架を移動することができます。



展示コーナー

初めて複式簿記が学術的に説明された「スムマ」他、上岡一嘉初代学長の著書を展示しています。



閲覧席



大学院生用閲覧席

大学院生、及び教職員の専用閲覧席です。